

尾瀬 大行山山スキー

矢野

【日程】2009年2月22日(日) 【メンバー】L矢野、田辺(利)、中村、斎藤(健)

昨夜から快晴。朝は冷え込み片品村で -12°C 。スキー場オープンと時を同じくして出発。既に新しいトレースがある。林道を歩くこと数十分、橋を渡ってから大カップ沢左岸の尾根に取り付く。気になる名前の沢を下に見ながら靴程度のラッセルで黙々登るが、早くも雪は水気をおびてきている。日射で雪面温度の上昇著しい。2月の午前だが暑いことこの上ない。大行山が見えてきた頃、カップ沢の源頭は疎林で空間は広がり始め、実にのんびりとした時間を楽しむことができる。



【源頭】

長めの一本を取り、勉強を始めたばかりのゆきみちゃんを使った雪観察を実施。雪面から20cmのこしまり雪で2cmの氷板、また20cmのこしまり雪でまた氷板。上の20cmはあつという間に滑り落ちる。尚、雪粒子の判別はとても難しく、上記もえいやの判定。雪判定には経験を要することをあらためて実感。しかし、よ〜く観察すればするほど雪に興味を沸いてくるから面白い。

休憩後登り始めるとあつという間に山頂。ここも広々しており幕営したい空間である。誰もいないと思ったが、意外にも近くに一人、何か観察でもしているかのように歩いていた。



【僅かなパウダージーン】

山頂でものんびりしてから滑降を開始。重い雪で時折足を取られるが、楽しく滑ることができる。カップ沢を滑っていくと少し沢が出ている。落ちたらカップに引きづりこまれそうなので、気をつけて脇を通過。一度トラバース気味に左岸に登り返し、日射の少ない北より斜面へドロップ。僅かの数ターンだが、ここはパウダー。最後に楽しい斜面で全てよしとし、林道に合流してスキー場へ。

【行程】戸倉スキー場(8:00)～大行山山頂(11:00)～戸倉スキー場(12:40)

【地図】至仏山